

トピックス

# まほら

まほらとは ~ 丘や山に囲まれたすぐれたよい所 ~  
古事記「中巻」より

第8号

平成20年 1月発行

自然に学び、地域に生かす

出雲土建株式会社

建設事業部 緑化事業課

TEL 0853-22-0388

FAX 0853-22-0377

Email : izd-ryokuka@i-doken.co.jp



IZUMO  
DOKEN

## 私たちが携った歴博「風土記の庭」 しまね景観大賞!

山陰 中央 新 報



平成20年1月23日(水)の山陰中央新報に掲載された記事です。写真は、エントランスのカツラ並木です。



平成19年6月頃の新緑のカツラ並木。

県内の魅力ある景観「くりに貢献している街並みや建造物、活動をたたえる本年度の「しまね景観賞」が発表され、大賞に、県立古代出雲歴史博物館(出雲市)と宍道湖夕日スポット(松江市)が決まった。構造や空間演出が、背後の山並みや歴史などと調和している点が評価された。

優秀賞には、地元農家「棚田」、松江市殿町の複合施設「蔵々」、土木施南市大東町の「山王寺の」設として「主要地方道川

しまね景観賞  
歴史、風景に調和

大賞は歴博  
出雲  
夕日スポット  
松江



エントランスに植栽してあるカツラの木は、栃木県から1本1本吟味して運びました。

本波多線邑智大橋」の計三件が選ばれた。

同賞は、県民の景観づくりに対する関心を高めようと、県が一九九三年から実施。今回は二百七件の応募があった。

表彰式と藤岡大拙審査委員長による講演が、二月十三日に松江市のサンラポーむらくもである。

## クロマツ樹勢回復事業のその後

出雲大社のクロマツ 平成17年12月施工



施工後 平成19年8月

施工前と比べて葉の量が増え、空が透けて見えなくなりました。  
徐々にですが樹勢が回復しています！



施工前 平成17年6月



## 熊野大社のクロマツ 平成18年3月施工



施工前 平成18年3月



施工後 平成19年10月

施工後2年近く経過し、順調に葉の量も増え、葉の色も良くなり樹勢が回復してきました！

## 三瓶の定めのマツ

平成18年11月施工



施工前 平成18年7月



施工後 平成19年10月

県下随一の一对のクロマツ！残念ながら片方の下側のクロマツは松くい虫の被害に遭い400年の歳月を終える事になりました。  
1本残った上側のマツは今も継続して治療を行っています。樹齢が400年にも及ぶ老木です、まだ顕著に評価するに至りませんが、しかし葉の色は良くなり確実に回復に向かっています。

## 島根発！抵抗性クロマツ「くにびきマツ」

自社圃場で生産開始！

島根県より配布された松くい虫被害に抵抗性のあるクロマツの種を平成19年3月に播種しました。



平成19年5月に発芽して種をかぶった子葉がでてきました！



すくすくと成長しています。平成19年12月今年秋以降に第1号の抵抗性クロマツをお届けいたします。

## 新築庭紹介！

加茂町M様庭 平成19年7月完成



完成した出雲流庭園



施工前

ご主人は都会からのアイターン！定年を迎え奥さんとお二人この加茂町へお住まいを求められました。周りの環境はとても静かでよかったです。が・・・庭は何も無く草だらけ・・・自分の庭がほしい！

その願いにお答えして出雲流日本庭園を築庭！背景の山を生かし(借景)枯山水様式の本格的日本庭園。雑草の悩みを解消する為に、白い砂の下には防草シートが全面に敷いてあります。

大社町S様邸 平成19年12月完成

ご主人は隠岐の島へ単身赴任されていたので、土日に帰られた時に打合せを重ねました。最初はアプローチと部屋の前の庭を造って見たい！との発想から、打合せを重ねるごとに話が膨らみ、とうとう門を造るところまで発展しました。



完成した数奇屋門



完成した前庭

門はその昔外敵から家を守る為に造られました。今では主に家に風格を付けるのに造られます。門はその家の亭主の人格をも表現します。

ですから、S様邸の門は優しく気品のある幾人も親しみやすい数奇屋門に仕上げました！

その門に入ると、愛らしい善導寺型灯籠が景色を和らげ、天水に滴る水が動きを与えるそんな「おもてなしの心」を表現した前庭です。